

# 「わたしはいのちのパンです」

ヨハネの福音書 6章 48節

2024.7.7 浜寺礼拝

全ての人間にとって、真に生きるために、永遠に生きるために何が必要なのでしょう  
うか。

## 1. 背景

ヨハネ6：1～15で、第4のしるしとして語られている5000人の給食のこと  
があります。

## 2. 荒野で与えられたマナ（出エジプト記16章）

出エジプト16：4「見よ。わたしはあなたがたのために、パンが天から降るよ  
うにする。民は外に出て、毎日、一日分を集めなければなら  
ない。これは、彼らがわたしのおしえに従って歩むかど  
うかを、試みるためである。」

出エジプト16：35「イスラエル人は人の住んでいる地に来るまで、四十年  
間、マナを食べた。彼らはカナン地の境に来るまで、  
マナを食べた。」

### ① マナを与えられたのは、主なる神です。

出エジプト16：15「これは主があなたがたに食物として与えてくださった  
パンです。」

マタイ6：8「あなたがたの父なる神は、あなたがたが願う前に、あ  
なたがたに必要なものを知っておられるからです。」

ピリピ4：19「また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富  
をもって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます。」

### ② マナは、イスラエルの民の肉体的な飢えを満たすものであった。

### ③ マナを食べても死にました。

## 3. 「わたしはいのちのパンです」

「わたしは～です」これはイエス様の自己啓示のことばです。

ただパンをじっと見つめているだけでは、パンは私たちのからだの栄養と  
なり力とはなりません。この「いのちのパン」も同じです。

### ① この「いのちのパン」とは、御子イエス・キリストのことです。

ヨハネ6：51「わたしは、天から下って来た生けるパンです」

「生けるパン」のメッセージは、この「生けるパン」であるわたしをあな  
たがたが食べる時、わたしをあなたがたの中に取り入れる時、あなたがた  
は永遠にわたしと共に生きるのです。

### ② この「いのちのパン」を食べるのは、一度だけで十分なのです。

ヨハネ6：27「なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠の  
いのちに至る食物のために働きなさい。それこそ、人の子  
があなたがたに与えるものです。」

ヨハネ6：51「わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこ  
のパンを食べるなら、永遠に生きています。」

ヨハネ6：47「まことに、まことに、あなたがたに告げます。信じる者は  
永遠のいのちを持ちます。」

この「いのちのパン」を食べるとは、私たちがイエス様を主として、そし  
て救い主として信じ受け入れるということです。主を信じて救われた者  
は、救いを失うことはないのです。ヨハネ6：39

### ③ この「いのちのパン」は、私たちに霊的な満足を与えてくれます。

ヨハネ6：35「決して飢えることがなく」— 否定が強調されている

\* 飢えるとは、食べる物に欠乏している状態のことです。

満たされていない状態のことです。

ヨハネ6：35「決して渇くことがなく」

\* 渇くとは、のどがカラカラになる様な状態のことです。

ヨハネ4：14「わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渇くこと  
がありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉  
となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」

④ この「いのちのパン」を食べると、靈的に死ぬことはありません。

ヨハネ6：47

ヨハネ3：16「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

#### 4. 私たち人間の正しい応答とは

ヨハネ6：29「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」

神が人々に求めておられるただ一つの応答は、

神が遣わした者（主イエス・キリスト）を信じることなのです。

使4：12

\*信じるとは、主イエス・キリストの為されたわざを受け入れ、主に信頼し、主に従って生きるということです。

ガラテヤ2：20「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。」

#### 2人の人物の応答

##### ① マタイ19：16～22の富める青年

マッカーサー先生の注解

「彼がいのちを得ずに去ったのは、この世で彼自身が最も愛していたものを捨てて、キリストを主としてすべてを委ねる決心をしなかったからなのです。」

##### ② ルカ19：1～10の取税人ザアカイ

マッカーサー先生の注解

「救いはザアカイが財産を捨てたから与えられたものではありません。彼が真のアブラハムの子になったから、つまり信じる者になったからです。彼は行いによってではなく、信仰によって救われました。しかし、行いは彼の信仰が本物であるという重要な証拠だったのです。」

「しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。」